

消化器内科

1. 概要

浦野院長を筆頭とする6名のスタッフ、専攻医6名、後期研修医1～2名で診療に従事している。

山田、山本、服部が消化管、浦野、内藤が肝臓、松原が胆道・膵臓を担当し、

- ①消化器癌のX線・内視鏡・US診断
- ②食道・胃・大腸腫瘍に対する、ESDをはじめとする内視鏡的治療
- ③IBDに対する内科的治療
- ④胆道・膵疾患に対するEUS（-FNA）、造影US・EUS、ERCP（-IDUS）の診断成績
- ⑤ERCP後膵炎の予防
- ⑥閉塞性黄疸に対するERCP（経乳頭的内視鏡）下と、EUS（超音波内視鏡）下治療
- ⑦ウイルス性肝炎の治療と長期経過
- ⑧肝癌の画像診断と内科的治療-TACE、RFA、リザーバーを用いた化学療法など

を主な研究テーマとしている。

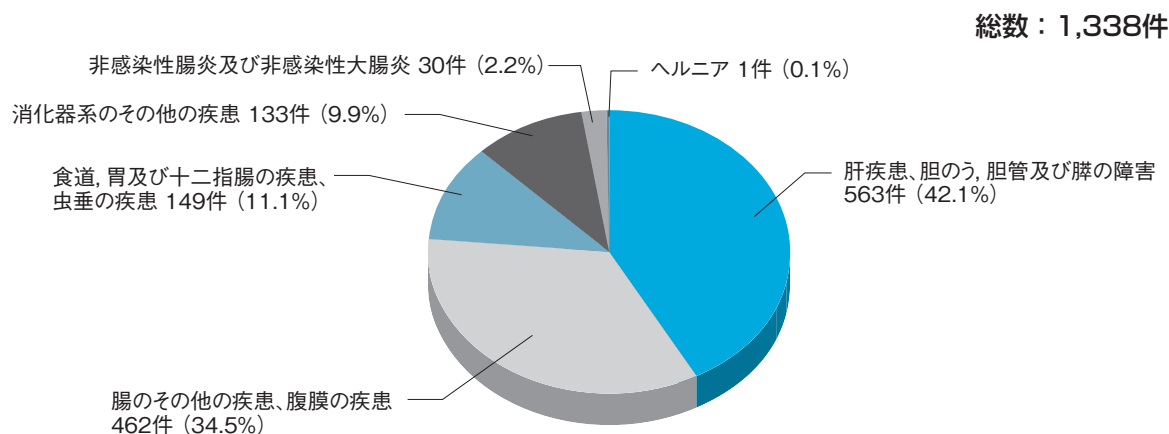
一方、全消化器領域に対応すべく日常診療を行っており、嚥下困難患者に対する内視鏡的胃瘻造設術の依頼にも随時対応している。

この他、食道胃静脈瘤、胃・十二指腸潰瘍、大腸憩室などからの急性消化管出血に対するEIS、EVLやクリッピング止血、内因性肝出血や壊死性膵炎に対するIVR、急性胆道炎に対するERCP、PTBD、PTGBD、EUS下ドレナージ、そして劇症肝炎や重症急性膵炎など重症消化器疾患に対する集中治療を積極的に行い、地域の救命救急医療に貢献している。

（第一部長 松原 浩）

2. 新規登録疾患

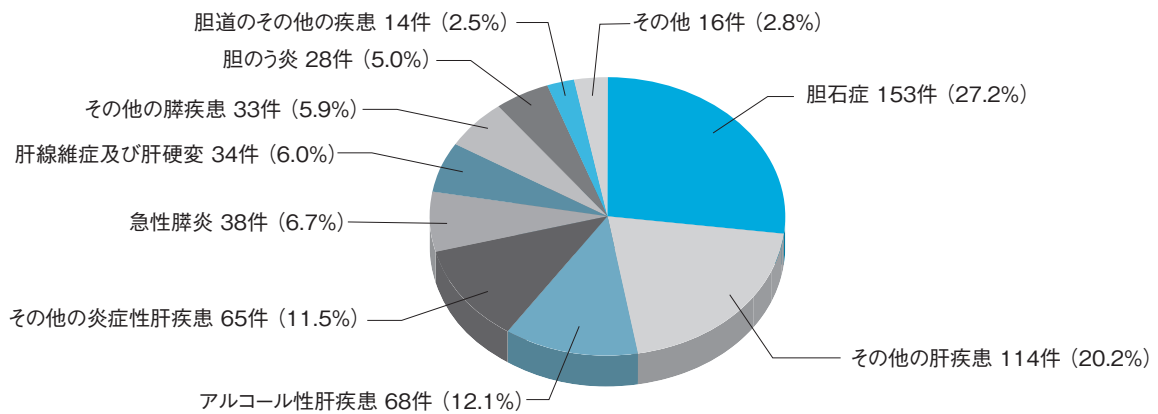
（1）新生物以外



上位3位の詳細

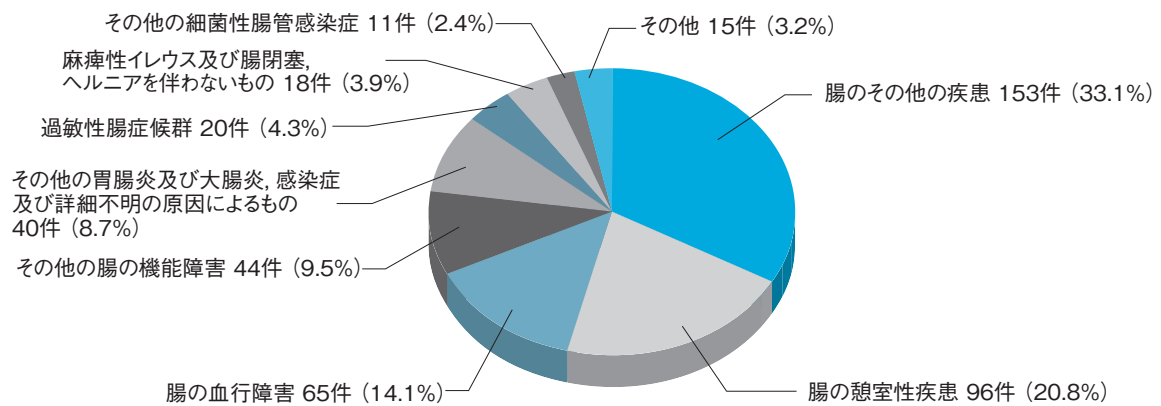
①肝疾患、胆のう、胆管及び膵の障害

総数：563件



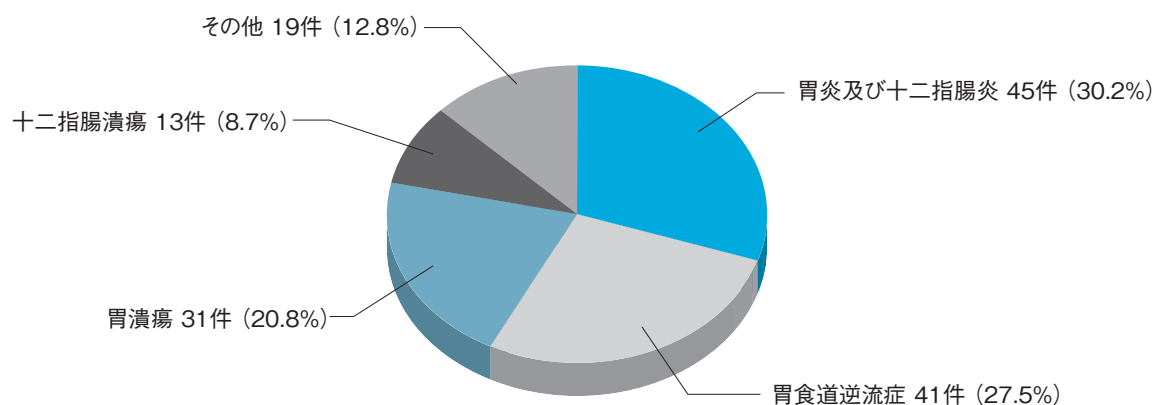
②腸のその他の疾患、腹膜の疾患

総数：462件



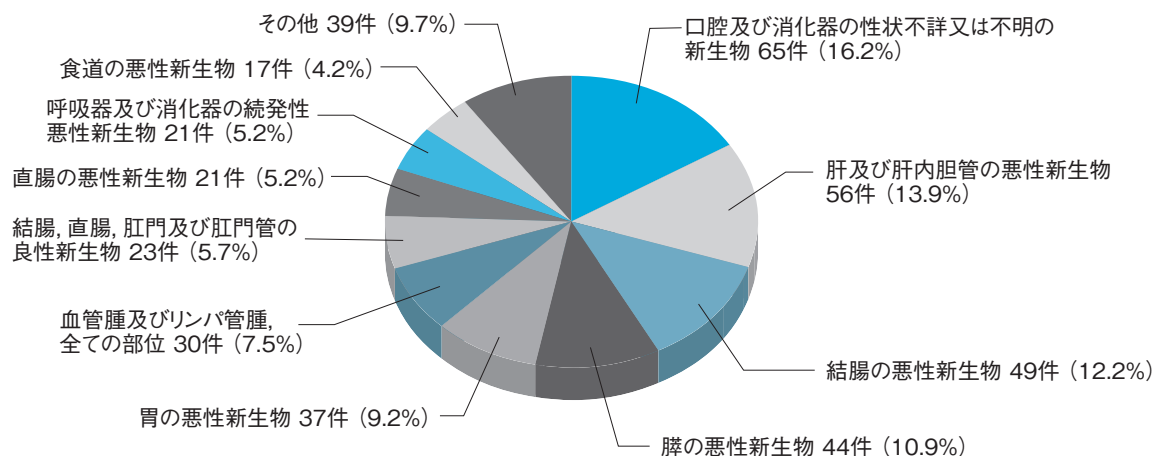
③食道、胃及び十二指腸の疾患、虫垂の疾患

総数：149件



(2) 新生物

総数：402件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	49,798人	年間外来新患者数	4,972人
年間入院患者数	31,485人	年間入院新患者数	2,613人

(2) 主な検査治療実績

胃内視鏡検査	6,157件
大腸内視鏡検査	3,954件
小腸内視鏡検査	バルーン内視鏡 27件
	カプセル内視鏡 77件
消化管超音波内視鏡検査	上部 98件
	下部 6件 (うち穿刺生検 10件)
内視鏡的粘膜下層切開剥離術	食道/胃 106件
	大腸 58件
胆膵超音波内視鏡検査	259件 (うち穿刺生検 74件)
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	512件
腹部血管造影検査	55件
うち 動脈塞栓術	35件
動注化学療法	5件
リザーバー留置による動注化学療法	2件
ラジオ波焼灼術	35件

学会発表（医局）

（消化器内科）

1	松原 浩.膵癌早期診断における内視鏡的経鼻膵管ドレナージ留置下膵液細胞診の有用性.第106回日本消化器病学会総会.広島市.2020/08/11-2020/08/13
2	加納 佑一.当院における表在型食道扁平上皮癌に対する集学的治療の現状と成績.第99回日本消化器内視鏡学会総会.大阪府.2020/09/02-2020/09/03
3	足立 賢吾.レンパチニブ投与直後に急速な腫瘍壊死をきたした巨大肝細胞癌の1例.第242回日本内科学会東海地方会.名古屋市.2020/10/18
4	山田 雅弘.クローン病に対するUstekinumab の治療成績.第62回日本消化器病学会大会.神戸市.2020/11/05-2020/11/08
5	加納 佑一.当院における切除不能進行肝細胞癌に対するLenvatinib の有害事象の検討.第62回日本消化器病学会大会.神戸市.2020/11/05-2020/11/08
6	内藤 岳人.肝外病変を伴う進行肝細胞癌に対するレンパチニブの治療成績.第43回日本肝臓学会東部会.岩手県.2020/12/03-2020/12/05

座長・司会（医局）

（消化器内科）

1	山本 英子.胃癌薬物療法 後方ラインのトピックス.第18回東三河消化器癌治療セミナー.2020/2/21
2	浦野 文博.膵疾患Frontline～膵外分泌機能不全と栄養を考える～.東三学術講演会.2020/7/1
3	山田 雅弘.「UCにおける局所治療の現状」.東三河IBD WEB セミナー.2020/10/9
4	浦野 文博.DAA 時代のC 型肝炎診療とPitfall.～Web セミナー～東三学術講演会.2020/11/4
5	松原 浩.日常診療における疑問について共に考えましょう！.膵がんウェブセミナー.2020/12/4

講演（医局）

（消化器内科）

1	山田 雅弘.クローン病治療の現状～Ustekinumab の位置づけ～.Crohn's disease Web Seminar.豊橋市.2020/2/20
2	加納 佑一.胃がん・3次治療以降における当院の化学療法の実際.第18回 東三河消化器癌治療セミナー.豊橋市.2020/2/21
3	松原 浩.当院における慢性膵炎診療.東三学術講演会.豊橋市.2020/7/1
4	山田 雅弘.潰瘍性大腸炎におけるStelara の有用性の検討.潰瘍性大腸炎WEB セミナー.豊橋市.2020/11/30

論文・著書（医局）

（消化器内科）

1	松原 浩.血流障害による腫瘍壊死で造影画像診断に難渋した胆嚢癌の1例.胆道. 2020; 34: 115-121.
2	Hiroshi Matsubara.Usefulness of endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy for the diagnosis of autoimmune pancreatitis using a 22-gauge Franseen needle: a prospective multicenter study.Endoscopy. 2020; 52: 978-985.
3	浦野 文博.髄膜炎、感染性心内膜炎を発症したアトピー性皮膚炎患者に対する僧帽弁置換術の1例.胸部外科. 2020; 73: 679-682.
4	松原 浩.【これ一冊ですべてわかる消化器超音波検査】(第Ⅲ章)胆膵領域 胆管癌診断における超音波検査の役割.臨消内科. 2020; 35: 1025-1030.
5	山本 英子.日本人遺伝性血管性浮腫患者の長期発作予防のための定期的及び発作時の治療を目的としたC1-INH 静脈内投与の有効性、薬物動態、薬力学的作用及び安全性評価のための第Ⅲ相非盲検試験.アレルギー. 2020; 69: 192-203.
6	山田 雅弘.KeyWordキーワード No.30 6-TGN.消病サイエンス. 2020; 4: 49-49.